

国際教養 学部の 特色

早期に全員が1セメスターの海外留学を経験

▶▶▶▶▶ 079

5つの提携大学（アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、フィリピン）のいずれかに全員が留学します。生きた英語力、異文化理解力、基礎学習能力を習得し、“世界で生き抜く力”の必要性を体験します。

学部授業はすべて少人数(参加型)の英語で実施

▶▶▶▶▶ 076

少人数の授業で、英語を運用する4技能（聴解、口頭表現、読解、文章表現）のすべてにわたって、より高度な英語運用能力を習得します。さらに、3つの分野「歴史・社会・文化」「国際関係・政治」「経済・経営」の学びを通じて「世界と交渉できる力」を持った人材育成をめざします。

社会問題への多角的アプローチを考察

▶▶▶▶▶ 078

多くの社会問題をテーマに取り上げ、異なる学問の観点から深く考察していきます。論理的な討論力、データに基づく分析力、英語によるプレゼンテーションスキルを磨きます。

Student Growth

世界中から集まる学生の中で、 人間としての成長を感じています。

国際教養学科 4年生 繁野 昌美さん（東京都/私立創価高校）

●留学先/アメリカ・ロサンゼルス 南カリフォルニア大学

歴史や哲学、政治、経済など幅広い分野を学び、世界の諸問題を解決するための英知を磨きたいと思い、国際教養学部に進学しました。世界中から集まった留学生をはじめとする個性豊かな仲間たちと少人数クラスで学ぶ中で、社会や世界とのつながりや人間としての成長を感じています。将来は文化と教育の力で、世界に希望の橋を架けていきます。

1
年次

秋学期からアメリカ・南カリフォルニア大学に8か月間留学しました。世界20か国以上に友人ができ、価値観や視野が大きく広がりました。

2
年次

国連協会主催の国際学生会議をはじめ、文部科学省主催のプレゼンテーション大会、インターンシップなども経験し、さまざまな分野で活動しました。

3
年次

万葉国際寮のレジデンス・アシスタントとして留学生の生活をサポート。専門性が増す学部の授業では、学問の深さと面白さを実感しました。

4
年次

将来を見据えて進路を決定するとともに、自分なりに真理を求め、大学4年間の集大成である卒業論文を書き上げたいと考えています。

国際教養学部の4年間の学びの流れ

	▶ 1 年次		▶ 2 年次
	春学期	秋学期	春学期
	2 年次修了時まで幅広い教養の基礎を英語で養成		
1 人文・社会科学にわたる基礎的知識と教員の指導下で研究を行う力	Principles of Philosophy Principles of History Principles of Sociology Principles of Politics and Globalization	Principles of International Relations Principles of Economics Principles of Business Principles of Accounting and Financial Analysis	世界の諸大学から選択し、1 セメスターの海外留学 Study Abroad アメリカ カナダ オーストラリア ニュージーランド フィリピン (16 単位を認定) Academic Foundations (Study Abroad) English for Academic Purposes (Study Abroad I-III)
	<p>人文・社会科学の幅広い分野の導入科目を、自分のペースで履修! (各分野から1科目以上、計4科目以上を修得)</p> <p>CHECK</p>		
2 グローバル社会で通用する高度な(学術的な)英語運用・コミュニケーション能力	Precalculus Calculus Linear Algebra	Statistics I Statistics II Programming	
	<p>社会で必須である数的分析力を養成! さまざまな段階に対応したクラスの提供 計2科目以上を修得</p> <p>CHECK</p>		
3 多様な文化的背景を持って人々と協働できる異文化理解力	Academic Foundations I English for Academic Purposes I	Academic Foundations II English for Academic Purposes II	
	<p>留学前に集中的な英語力の強化!</p> <p>CHECK</p>		
4 課題を発見し、問題の解決に取り組む能力	Cross-Cultural Understanding 第2外国語	第2外国語	
	<p>Freshman Seminar</p> <p>CHECK</p> <p>学問の方法論を学びます</p>		

卒業要件

国際教養学部の学生が、卒業までに必要な要件は下記の通りです。その上で、英語能力要件を満たさないと、卒業までに必要な単位数を修得しても卒業できません。

- 本学に4年以上在学(必修の海外留学期間を含む)。
- 国際教養学部で定められた卒業に必要な単位数をすべて修得していること。
- 通算 GPA が 2.0 以上であること。



英語能力要件

国際教養学部の卒業に必要な科目を修得するにあたり、基準以上の英語試験スコアが必要です。

- ① 3 年次春学期に **TOEFL iBT 70 以上** のスコア
- ② Junior Paper 提出時に **TOEFL iBT 80 以上** の英語試験スコアが必須

※3年次秋学期以降でも、「Junior Paper」の提出は可能ですが、卒業要件ですので留意してください。

3 年次専門科目履修要件	TOEFL iBT 70
卒業要件 (Junior paper 提出時)	TOEFL iBT 80

▶ 3年次		▶ 4年次		
秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
幅広く、より深い教養の修得と、ゼミを通じての専門性の養成				
				
Quantitative Research Methods				
学部専門科目 歴史・社会・文化分野（8科目）、国際関係・政治分野（9科目）、経済・経営分野（8科目）				
CHECK 多様な専門科目から自らの興味にあわせて選択(各分野から1科目以上、計4科目以上を修得)				
Academic Writing				
			CHECK 少人数のクラスで、アクティブラーニングを実践	
International Fieldwork I-II	Seminar I		Seminar II	
CHECK アジアの現場を多角的に学ぶ			CHECK Seminar-II修了時に Junior Paper を作成	
			Seminar III	
			Seminar IV	
			卒業研究 Capstone	

1 Focus

学部授業はすべて英語で実施

高度な英語運用力に関わるあらゆる技能を身につけ、世界で通用する「交渉力」を習得する。



国際教養学部では、「国際性」「幅広い教養」「実践力」の3つの力を養成し、世界を自分自身のステージにできる人材を育てています。いま、国境をこえたグローバルな諸問題は、英語で情報を収集・分析・発信する能力が不可欠です。そこで、学部の専門科目はすべて英語で行い、英語を運用する4技能(聴解、口頭表現、読解、文章表現)のすべてにわたって、より高度な英語運用能力「世界と交渉できる力」を習得します。

国際教養学科

人文・社会科学の幅広い教養を習得し、
英語による国際的なコミュニケーション能力も磨く



国際教養学部では、人文・社会科学分野にわたる幅広い知識、スキルを総合的に習得する学際的アプローチを取り入れています。1年次春学期から、統計学やプログラミング言語をはじめ、歴史、哲学、経済学、経営学、政治学などの入門科目を熱意あふれるグローバル・スタンダードの教員が担当します。密度の濃い知的訓練を楽しみながら英語力が飛躍的に伸びます。また、幅広い観点から問題にアプローチできる能力とともに、学生と積極的に意見交換を行える環境を整え、英語で人に伝える力、国際的なプレゼンテーションスキルなども磨いていきます。

■主な専門科目

歴史・社会・文化分野

- World Wars in History
- Cold War and Decolonization in History
- Global Social Policy
- Education and International Development
- Modern Political Thought
- Global Ethics
- Sociology of Globalization
- Transnational Migration

国際関係・政治分野

- Great Power Politics in the World
- International Bargaining
- International Political Economy
- Comparative Politics
- International Institutions and Global Governance
- International Relations in Asia
- Contemporary Political Theory
- Citizenship and Democracy in a Global Age
- Nonprofit Organizations and Public Sector

経済・経営分野

- Intermediate Microeconomics
- Intermediate Macroeconomics
- Development Economics
- International Economics
- Management Science
- Operations Management
- Marketing
- International Business

Message — 在学生メッセージ



歴史、経済、政治などの 幅広い分野を英語で学ぶ。

国際教養学科 4年生

● 留学先/イギリス・ロンドン ロンドン大学ゴールドスミス

持田 伊織さん(東京都/私立帝京高校)

「英語を学ぶ」のではなく「英語で学ぶ」環境に魅力を感じて国際教養学部に進学しました。歴史、経済、政治と幅広い分野を学ぶことで、将来の選択肢を増やすことができるのではないかと考えました。現在は数量経済史を専門とする教員のもとで、アジア経済を実証的に分析するツールを学んでいます。研究の一環としてシンガポールで開催された国際会議に参加し、世界的に著名な経済学者のプレゼンテーションを見たことは大きな刺激になりました。

● 私の一週間

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1眼目	スペイン語			スペイン語	
2眼目	Transnational Migration	体育講義	キャリアビジョン	History & theory of World economy	
3眼目		共通総合演習		Citizenship & Democracy in a Global age	
4眼目	History & theory of World economy	Citizenship & Democracy in a Global age	Transnational Migration	seminar	
5眼目					

My Free Time 留学中のアルバイトで異文化を知る

イギリスに留学した際に、現地の飲食店でアルバイトをしました。一緒に働くスタッフもお客さんも国を問わず世界中から集まる多様性の高い環境で働くことができたのは、異なる文化を知る上でとてもよい経験となりました。

▶国際教養学部で学ぶ[3つの分野]

国際教養学部では3つの分野を幅広く学びます。

歴史・社会・文化

History & Society & Culture



世界が抱える課題を、歴史や文化といった側面から分析します。ルーツをひも解いていく中で、社会問題の根幹にある原因を考察していきます。

国際関係・政治

International Relations & Politics



現代の国々がどのような問題を抱えているのか。各国の政治や外交、隣国との関係性も学びながら、世界情勢に対する理解を深めていきます。

経済・経営

Economics & Business



ビジネスという観点から世界の動向を見つめ、企業や組織が直面している課題を探究します。世界経済がめざすべき未来像を模索していきます。

Pick Up [開講科目]

Education and International Development

教育を通じた発展の理論とモデルを検討し、学びと教育の可能性を考察



グローバル化によって、各国の教育政策や教育制度は相違よりも同一性が見られるようになりました。それが正しいことなのか、文化や国際性に関係しているのかなどの問題を考えてみる必要があります。この科目では、先進国と途上国における教育の持続的発展の理論と実践を検討します。教育を通じた発展の理論とモデルを検討することによって、現地に根付いた知識などから学びと教育の可能性を考察します。

International Bargaining

グローバル化した世界で外交および政府間交渉の重要性について検討します



グローバル化した社会における外交および政府間交渉について学びます。特に、戦争回避や国際的危機への対応をめぐって国際社会が有効な外交を展開した事例、逆に外交が失敗した事例を、取り上げます。本科目では、いかにすれば国際交渉が最大限に有効となるか、外交と実力行使をどのように組み合わせるか、人権侵害や戦争の回避のため国連などの国際機関をいかに効果的に機能させるか、について注目していきます。

International Business

国際取引における人間関係、組織、環境などの実際を知る



ビジネスパーソンは、国際取引における人間関係、組織、環境について知る必要があります。本科目の主要な目標は、実際に国際企業で働くかどうかに関わらずグローバル化のビジネスを効果的に行うための道案内をすることです。この科目は受講生が教養ある市民になり、政府の政策やグローバル化に影響を与える主要な課題を理解する手助けをします。科目修了時には、学生は国際ビジネスの実際を理解し、説明できるようになります。

2 Focus

早期に全員が1セメスターの海外留学

〔国際教養学部独自のプログラム〕×〔本学が有する世界諸大学とのネットワーク〕
＝グローバルな大学生活を送る4年間！

●1年次修了後に1セメスター、英語圏への海外留学が必修

5つの提携大学(アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、フィリピン)のいずれかに全員が留学します。



①南カリフォルニア大学

米国・ロサンゼルスに位置する私立総合大学。米国西部で最も歴史と伝統のある名門大学。1880年創立。



②グリフィス大学

オーストラリアのブリスベンに位置する公立大学。革新的な教育が高い評価を受ける総合大学。1971年設立。



③サイモン・フレーザー大学

カナダ・バンクーバー郊外に位置する美しい景観の州立大学。カナダ最高学府として高い評価。1965年設立。



④オークランド大学

ニュージーランド北島に位置する国立総合大学。海外においても高い評価を得ている国内トップの名門大学。1883年設立。



⑤アテネオ・デ・マニラ大学

(2018年度より追加予定)
フィリピン・マニラ市郊外に位置する私立大学。国内の優秀な子女が学ぶ、フィリピンを代表する一流大学。1859年設立。

※アテネオ・デ・マニラ大学については、2018年4月現在検討中で、留学先として変更の可能性あります。その他の大学についても、今後は留学先として変更される場合があります。
※グリフィス大学、アテネオ・デ・マニラ大学については一定の英語力試験のスコアが求められます。



■世界諸大学への海外留学 1セメスター

国際教養学部は、全員が留学するというハードルを設けています。1セメスターの海外生活は、高校時代に習得した語学力だけでは通用しません。日本の社会とは異なる文化、価値観を受け止めた上で、自分自身を表現していく積極的なコミュニケーションが求められます。海外生活の中で生きた英語力、異文化理解力、基礎学習能力を習得し、「世界で生き抜く力」の必要性を肌で感じてください。帰国後は、留学で習得した語学力と異文化理解力を発揮して、さらに自身の専門性を高めていきます。決して簡単なことではありませんが、この壁を乗り越えた先には大きな飛躍が待っているはずですよ。



期間	1年次終了後から2年次春学期の1セメスター
留学費用※1	学費に含まれます。そのほか寮費など、滞在費は自己負担です
修得単位	Academic Foundations (Study Abroad): 4単位 English for Academic Purposes (Study Abroad I-III): 各4単位(計12単位) 計16単位を認定

※1 留学関係の費用について：留学中の授業料、渡航費、海外傷害保険料については、創価大学へ納入した学費に含まれます。それ以外のビザ代、学生寮・ホームステイ関係費、現地大学保険費、食費などの生活費については全て自己負担となります。

2年次春季休業期間

インターナショナル・フィールドワーク I-II
(マレーシア短期研修)

ますます重要性が高まる 「アジアの現場」を学ぶ

この科目は2年次秋学期と2年次春季休業期間を活用して、大きく変容する「アジアの現場」を学びます。研修先は多様な文化、宗教、民族が並存しつつ発展を続ける複合社会マレーシアです。2年次秋学期には事前学習として、マレーシアの特性を「歴史・社会・文化」「国際関係・政治」「経済・経営」の視点から多角的に学び、マレーシアが直面する固有の課題や挑戦に対し、創造的な解を提示するための研究を小グループ単位で開始します。2週間の研修期間中には、現地の著名な教授陣による講義、マラヤ大学生とのディスカッション、企業訪問などを実施し、研修最終日には現地の教授陣に対し、グループ研究の成果報告を英語で行います。本研修修了者は4単位を修得します。



※参加費用は自己負担になります。

3年次以降、交換留学や私費留学※2

本学の世界5大陸、58か国・地域、196大学(2018年3月現在)とのネットワークを活かして!

英語圏への留学で専門的な学びを!

非英語圏への留学で、もうひとつの言語の習得を

本学がもつ特色のひとつは、世界5大陸に国・地域を代表する大学とネットワークを有していることです。国際教養学部で1・2年次に培った英語力をさらに伸ばして、在学中に交換留学生として2度目の長期留学に挑戦することができます。英語圏の大学に留学し、学部専門科目を履修して学びを深めたり、あるいは本学の強みである非英語圏の多彩な大学でもう一つの言語を集中的に習得し、異なる文化に触れることができます。さらに、この留学経験を自分ならではのキャリアプランに活かしていくことができます。



※2 留学の形態によっては4年間での卒業はできなくなります。

Message — 在学生メッセージ



世界中から集まる学生と語り合う日々。 大学院進学を目標に国際政治への学びを深める。

国際教養学科 4年生

●留学先/アメリカ・ロサンゼルス 南カリフォルニア大学
浅野 英男さん(茨城県/私立創価高校)

世界平和に貢献するために大学で語学力と知識を徹底して習得しようと思い、国際教養学部を選択しました。アメリカ留学中は、文法、リーディング、リスニング、エッセイの書き方など、英語の基本から応用までを集中して学びました。中国、台湾、韓国のルームメイトと一緒に暮らす中で、国家の関係を超越して語り合うことができました。卒業後は大学院に進学して国際政治に関する学びを深め、将来的には、核兵器の廃絶に関わる仕事に就きたいと思っています。

●私の一週間

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限目	Current News and Events		Current News and Events		Oral Skills
2限目	Oral Skills	Reading and Grammar	Reading and Grammar	Reading and Grammar	Reading and Grammar
3限目	Reading and Grammar	Oral Skills		Oral Skills	
4限目					
5限目					

My Free Time 友情を深め合った留学先での思い出

留学中はカンパセーションパートナーという留学先大学のプログラムを活用して、インド出身の学生とお互いに英語と日本語を教え合いながら、友情を深めることができました。一緒にインド料理を食べたり、好きなアニメを見たことはよい思い出です。

国際教養学部—教員紹介



■ D. Malcolm Daugherty

講師
●専門分野/ Teaching English to Speakers of Other Languages (TESOL)



■ Ugur Aytun Ozturk

教授
●専門分野/ Management Science, Industrial Engineering, Operations Research



■ Maria Guajardo

教授
●専門分野/ Education and Youth Development, Cultural Competency, Early Childhood Education



■ Robert Sinclair

教授
●専門分野/ Philosophy



■ Valerie Hansford

准教授
●専門分野/ Teaching English to Speakers of Other Languages (TESOL)



■ 杉本 一郎

教授
●専門分野/数量経済史(歴史経済統計推計と実証分析)、東南アジア経済史(英領期シンガポール、マラヤ、ビルマ)



■ 小出 稔

教授
●専門分野/国際関係論



■ 高橋 一郎

教授
●専門分野/マクロ経済学、ゲーム理論



■ Anar Koli

講師
●専門分野/ Global Environmental Politics, International Relations, International Political Economy, South Asian Studies



■ 内山 智博

講師
●専門分野/数学、数理経済学



■ Hartmut Lenz

教授
●専門分野/ Political Science, International Relations



■ Yungchih George Wang

准教授
●専門分野/ Finance, Economics



■ Lary MacDonald

教授
●専門分野/ International and Comparative Education, Teaching English as a Second Language



■ 山田 竜作

教授
●専門分野/政治理論(現代民主主義理論)、政治思想史



■ 前川 一郎

教授
●専門分野/イギリス帝国史、国際関係史



■ Jennifer Yphantides

講師
●専門分野/ Teaching English to Speakers of Other Languages (TESOL)



■ Daniel Sasaki

准教授
●専門分野/ Teaching English to Speakers of Other Languages (TESOL)



■ Johanna Zulueta

准教授
●専門分野/ Sociology, Global Studies



■ 小山内 優

教授
●専門分野/大学アドミニストレーション、大学の研究活動およびパブリック・サービスの分析

DATA

[進路データ]

■卒業生の主な進路先 2017年度内定実績

外務省、国際協力機構(JICA)、時事通信社、アクセンチュア、アビームコンサルティング、ゴールドマン・サックス証券、宮越ホールディングス、日本タタ・コンサルタンシー・サービス、PwCあらた有限責任監査法人、野村證券、日本アイ・ピー・エム、NTTデータ、セールスフォース・ドットコム、NECソリューションイノベータ、日本ヒューレット・パッカド、ダイトロン、サミット、日本旅行、Aegis BPO Malaysia Sdn Bhd、星野リゾート、プリンスホテル、住友不動産ヴィラフォンテーヌ、クラブツーリズム、東日本旅客鉄道、清水建設、キューソー流通システム、味の素物流、鈴与、サン・ライフ、長谷川キッズライフ、コースシアタージャパン、パル、山下ゴム、日本総合研究所、トランスコスモス その他

■卒業生の主な大学院進学先 2017年度合格実績

コーネル大学公共政策大学院、カリフォルニア大学サンディエゴ校、ジョージワシントン大学エリオット国際関係大学院、ミネソタ大学大学院、シンガポール国立大学リークアンコー公共政策大学院、サセックス大学大学院、リーズ大学大学院、国立デブレツェン大学医学部予備コース、東京大学大学院、早稲田大学大学院、北陸科学技術先端大学大学院、創価大学大学院 その他

■関連資格・試験

外務省専門職採用試験(外交官)

Message — 卒業生メッセージ



語学力を活かして社会に貢献できる道として、
世界平和に直結した仕事のできる外交官の道へ。

古信 宏一さん 外務省

国際教養学科 2018年卒業

学生時代に海外留学から帰国した後、自分の語学力を活かして社会に貢献できる道を考え、日本の安全や国際社会での存在感を高めるために働く外交官を志しました。世界の平和に直結する役割があると感じたことが、外交官という道を決断した理由です。創価大学で培った挑戦し続ける姿勢を貫いて、私たち国際教養学部1期生が社会で活躍することで、後に続く後輩に道を開いていきたいと考えています。

高校生の時から憧れていたジャーナリストとして、
生涯学び続け、成長していける人間に。

森岡 秀美さん

国際教養学科 2018年卒業

高校生の時からニュースや報道に関心があり、ジャーナリストに憧れるようになりました。大学に入ってから「記者という職業は生涯終わらない大学院にいるようなもの」と先輩から聞き、より強く志望するようになりました。念願が叶って記者職として採用され、今後は新聞社やテレビ局などへ発信する記事を書くことになります。これからも生涯学び続け、目の前の課題に真剣に取り組む中で成長していける人間になりたいと思っています。



国際教養学部



海外の大学で教育開発学の研究を進め、
開発途上国の識字率の向上に貢献したい。

増子 浩幸さん サセックス大学大学院 国際教育開発学専攻

国際教養学科 2018年卒業

世界中の人とコミュニケーションをとるための実践的英語を身につけ、海外留学でスキルを高めたいと思い、国際教養学部に進学しました。現在はイギリス・サセックス大学の国際教育開発学専攻で、開発分野における教育政策に関する専門的視点と、政策を実施する上での問題点とその解決方法を学んでいます。修了後は、開発途上国の識字率の向上をめざして活動してる国際機関やNGO、NPOなどの団体に勤めたいと思っています。